



# 環境活動レポート2015

(2015.04.01～2016.03.31)

---

## コンピュータロニクス株式会社

2016年7月1日発行

コンピュータロニクス株式会社

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-4-14オザワビル

Tel.03-3667-4133

<http://www.computronics.co.jp/>



エコアクション21  
認証・登録番号 0000439

# 目次

---

- はじめに
  - 1.環境方針
  - 2.中期環境目標
  - 3.環境活動計画と内容(2015年度)
  - 4.目標とその実績(2015年度)
  - 5.環境保全活動の取組結果の評価
  - 6.環境関連法規への違反、訴訟の有無
  - 7.代表者の評価の見直し
-

# はじめに

---

当社は2005年7月11日にエコアクション21の認証を取得し運用してまいりました。2015年度は更なるスパイラルアップを目指して環境活動を推進します。

当社の事業活動は、企業理念「顧客が求める情報システムを提案し開発する」をベースに、携帯電話をはじめ情報家電分野でのエンベデッドシステム開発について豊かな業務経験があります。

## 事業活動の規模の推移

| 活動規模 | 単位             | 2015年度 | 2014年度 | 2013年度 |
|------|----------------|--------|--------|--------|
| 売上高  | 百万             | 449    | 427    | 436    |
| 従業員  | 人              | 52.0   | 52.0   | 51.5   |
| 床面積  | m <sup>2</sup> | 125.4  | 125.4  | 125.4  |

---

社名 コンピュートロニクス株式会社  
代表者氏名 北田 孝志  
本社 東京都中央区東日本橋3-4-14オザワビルディング  
連絡先 TEL 03-3667-4133  
EA21推進室  
事業活動 通信制御、ネットワーク等、ソフトウェアの設計、開発、及び関連サービス(保守サービス、コンサルティング)

---

# 1. コンピュートロニクス環境方針

## ＜基本理念＞

コンピュートロニクス株式会社は、ソフトウェア開発を通じて、人や環境に優しい社会の実現に貢献する企業を目指します。

## ＜行動指針＞

1. ソフトウェアの開発業務のなかで提案を実施することで、設計から納品までの開発工程における効率化により環境への負荷の低減を継続的に推進します。  
従業員の総労働時間の短縮に取り組み、環境への負荷の低減に寄与します。
2. 事業活動に関わる全ての領域で、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減に取り組むと共に、資源循環に配慮することを推進します。
3. 環境関係法令を遵守し、環境経営システムと環境保全を継続的に改善することを推進します。
4. 環境教育や広報活動の実施により、当社で働くすべての人に環境方針を周知するとともに、以上の環境活動をレポートとしてまとめ、自社のホームページ上で公開して、一般の閲覧を可能にします。

2015年4月1日  
コンピュートロニクス株式会社  
代表取締役 北田 孝志

## 2. 中期環境目標

---

### 1. 総労働時間の短縮

- (1) 2014年度からは、残業時間を20時間/月/人とする。
- (2) 2015年度以降2017年度までは上記を維持することを目標とする。  
スマイル(コストマネージャー、勤次郎)を導入し、勤務の実態を早めに把握し高稼働の抑制指導を行う。

### 2. 電力使用量

- (1) 2014年度は、16,000kwh/年以下を目標とする。
- (2) 2017年度までに、上記より3%削減することを目標とする。

### 3. 紙の使用量

- (1) 2014年度は、年間71.6kg(A4換算20,000枚)を目標とする。
- (2) 2017年度までに、上記より3%削減することを目標とする。

### 4. グリーン購入の推進

グリーンマーク商品を優先的に購入し、購入品目数に対して90%を目指す。

---

## 3.環境活動計画目標と活動実績(1/2)

---

以下に2015年度の環境活動目標と活動実績を記述します。

### 1. 従業員総労働時間の短縮

従業員1人当りの残業時間を、20時間/月以内と定め、総労働を短縮することで環境負荷の低減に結びつける。

施策: 毎月の経営会議で実績を把握し、さらに問題点があればこれを是正する。

目標: 残業時間については従業員1人当りの残業時間を、20時間/月以内とする。

実績: 19.86時間/月 → 達成

### 2. 電力使用量の削減

電力使用量の目標を年間16,000kwh以下とし、これを維持または削減する。(下期に見直し年間15,198kwhとする)

施策: 空調温度(夏27度、冬20度)の管理は継続する。

目標: 電力使用量を15,198kwh以下にする。

実績: 電力使用量12,619kwh → 達成

---

## 3.環境活動計画目標と活動実績(2/2)

---

### 3. 紙使用量の減少

紙使用量年間71.6kg(A4換算20,000枚)を目標とし、前年並みを目指す。

施策:受信FAXのペーパーレス化等は継続する。

目標:紙の使用量を、年間71.6kg(A4換算 20,000枚)以下とする。

実績:年間71.6kg(A4換算20,000枚) →達成

### 4. グリーン購入の推進

目標:グリーンマーク商品を優先的に購入し、購入品目数に対して90%を目指す。

実績:購入品目数に対して88% →ほぼ達成

### 5. オフィスから排出されるゴミの分別及び重量の計測

オフィスから排出されるゴミを、

紙類(紙ごみ、重要文書、新聞紙、ダンボール、雑誌、カタログ)、缶、ビンペットボトル、発砲スチロール、プラスチック、不燃ごみ、可燃ごみ、蛍光灯、電池の10種類に分別し、それぞれの重量を計測する。

### 6. 水使用量削減について

テナントビルにつき、水使用量が把握ができないが、フロア配分による水使用量の把握に努める。

---

## 4. 目標とその実績(1/2)

| 実績 (2015年度) |  |                    |           |           |           |
|-------------|--|--------------------|-----------|-----------|-----------|
|             |  | 単位                 | 2015年度    | 2014年度    | 2013年度    |
| 総エネルギー投入量   | 購入電力   | MJ                 | 124044.77 | 152050.44 | 155078.08 |
|             | 化石燃料   | MJ                 | 0         | 0         | 0         |
| 総物質投入量      | 資源投入量  | Kg                 | 71.6      | 71.6      | 71.6      |
|             | 循環資源投入量  |                    | 71.6      | 71.6      | 71.6      |
| 水資源投入量      | 上水   | m <sup>3</sup>     | 71.88     | 95.04     | 94.93     |
| 温室効果ガス排出量   | 二酸化炭素 *  | Kg-CO <sub>2</sub> | 6700.689  | 8198.04   | 8282.4    |
|             | * H27年度東京電力実排出係数:<br>0.53(kg-CO <sub>2</sub> /KWh)使用 |                    |           |           |           |



## 4. 目標とその実績(2/2)

| 実績 (2015年度) |       |                |        |        |        |
|-------------|-------|----------------|--------|--------|--------|
|             |       | 単位             | 2015年度 | 2014年度 | 2013年度 |
| 廃棄物等総排出量    | 再生利用  | Kg             | 227.00 | 366.00 | 248.00 |
|             |       |                |        |        |        |
|             | 単純焼却  | Kg             | 31.0   | 26.00  | 102.00 |
|             |       |                |        |        |        |
| 廃棄物最終処分     | 最終処分量 | Kg             | 0      | 0      | 0      |
|             |       |                |        |        |        |
| 総排水量        | 下水量   | m <sup>3</sup> | 71.88  | 95.04  | 94.93  |
|             |       |                |        |        |        |

注) 車両の保有はなし。  
注) 資源投入量、循環資源投入量は紙の使用量とした。  
注) ガスの使用の代わりに電力を使用している。  
注) 化学物質削減については該当しない

# 5.環境保全活動の取組結果の評価と次年度の取り組み

---

以下に2015年度の活動の評価と2016年度の取り組みを記述します。

## 1. 使用総エネルギー量に対する評価

- ①2015年度は真夏や真冬以外は自然通風をできるだけ取り入れ電力使用を抑えた。  
また本社での作業時間の減少により大幅な削減になった。
- ②2016年度においても、継続して努力する。

## 2. 紙使用量に対する評価

- ①2015年度は紙使用量(資源投入量)は目標の71.6kgで目標のあったが、実績は71.6キログラムで目標を達成できた。
- ②2016年度においても、継続して努力する。  
資源投資量に対して、「上質紙」の廃棄量が多いが、郵送物の封筒、新聞の広告、ダイレクトメールなどがあるが、これら廃棄量の抑制を検討する。

## 3. 超過勤務について

- ①2015年度は超過勤務時間、総額とも目標を達成できた。
- ②2016年度はスマイル(コストマネジャー、勤次郎)の導入により勤務の実態を早い段階で把握し、超過時間の把握抑制を推進する。

## 4. グリーン購入について

- ①2015年度はグリーン購入率88%と目標をほぼ達成した。
  - ②2016年度は、引き続きグリーン購入を優先する。
-

## 6.環境関連法規への違反、訴訟の有無

---

以下に環境関連での法律違反、及び訴訟の有無について記述します。

1. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に対する違反  
当社設立以降、有りません。
  2. 環境関連での訴訟事案  
当社設立以降、有りません。
-

## 7.代表者の評価の見直し

---

以下に代表者の見直しを記載する

1. 環境方針については継続する。
2. 環境目標の超過時間削減は十分な成果を得ることができた。  
勤次郎により速やかな超過時間の把握を推進する。  
本社作業時間の減少に伴い、電力使用量の削減も達成できた。
3. 環境活動にそぐわない業務を受託しない。
4. 事故及び緊急事態への想定に対しての対策、環境上の緊急事態の訓練計画を確立する。
5. 環境経営システムの運用については、現状を維持する。

2016年7月  
代表取締役 北田 孝志

---